

善通寺龍神太鼓
和太鼓集団 響屋
大野原龍王太鼓
仁尾竜翔太鼓
女流和太鼓 響音
和太鼓集団 夢幻の会

第十三回

大坂の鼓聲

と き・令和5年6月25日(日)

開場・午後1時30分 開演・午後2時

ところ・ハイスタッフホール(観音寺市民会館)

香川県観音寺市観音寺町甲 1186-2 TEL 0875-23-3939

入場料・2,500円(前売2,000円)全席自由

主催/日本太鼓財団香川県支部

後援/(公財)日本太鼓財団・観音寺市・観音寺市教育委員会

四国新聞社・RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送・FM香川

(株)浅野太鼓楽器店・(株)宮本卯之助商店

問い合わせ事務局 090-1007-0148(川江まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を充分に行っております。

※入場時に検温、消毒をお願いしております。

※県内の感染状況により、場合によっては中止・延期の可能性もございます。

さぬきの鼓響

出演団体プロフィール



善通寺龍神太鼓

090-9453-7598(石井)

昭和 47 年石井響宇山を中心に善通寺龍神太鼓として発足、善通寺市の郷土芸能

として県内外にて幅広く活動し、北は北海道から南は沖縄まで演奏活動を展開。昭和 56 年 11 月、中華人民共和国『万里の長城』にて、日本で初めて和太鼓を響かせる。

当団体の活動が認められ、教育文化の振興に寄与した功績に対し平成 2 年 5 月、善通寺市功労者表彰を受賞。平成 14 年 11 月には香川県教育文化功労者表彰を受賞。海外公演として、アメリカ合衆国ソルトレイクシティ公演、韓国での国際芸術フェスティバル光州ビエンナーレ、2002 FIFA ワールドカップ公式行事公演など、海外でも日本の太鼓芸能として演奏。

香川県はもとより四国の代表芸能として活動し、和太鼓の音と精神を訴えるものである。



和太鼓集団 響屋

090-8282-4007(詫間)

私たち「響屋(おとや)」は、三豊市高瀬町内外の和太鼓をこよなく愛する者たちが寄り集い、2000年11月に活動をスタートしました。三豊市高瀬町を拠点として、下部組織である子ども太鼓の指導、県内外の各種イベントへの出演のほか、自主コンサートや様々なジャンルのアーティストともコラボレーションライブを行うなど、幅広く活動しています。

和太鼓というシンプルな打楽器の未知なる可能性を模索しながら、身近にある音や響きを題材にした作曲活動や、「響屋(おとや)ならではの」音表現をテーマに、個性溢れるパフォーマンスを展開しています。また、私たちの仲間から現在4名がプロ活動に転向し、全国から海外にまで、様々な場面で活躍を続けています。



女流和太鼓 響音

090-4505-6268(原田)

女流和太鼓響音は平成 9 年に活動を開始した女性だけの和太鼓チームです。四半世紀、活動を続けてきて、打ち手も変わっていくなか、いつの時も新しい風を求めて、歩んできました。

初めて太鼓と向き合った時から、今なお変わらないもの、それは太鼓と向き合う心、メンバーで試行錯誤しながら、新たな楽曲を完成させる情熱です。

今日のこの出会いを大切に、打ち手の心をひとつにして一打入魂…この思いが届きますように！



和太鼓集団 夢幻の会

090-3183-0100(奥村)

平成 12 年に、福井越前権兵衛太鼓八代目、玉村武氏指導の三ッ打ちを取り入れた伝統芸能との融合、一人一人の心技体の充実、個人技の修得・向上、組太鼓の協調性を追求し、真の和太鼓集団を目指すべく、志を同じくする者が集い結成しました。

『夢幻の会子ども太鼓』は、平成 15 年 10 月に結成し、2015 年 3 月に福島県で行われたジュニア和太鼓コンコンクールにおいて「宇宙の石」により、初出場、初入賞の特別賞を受賞。その後、2016 年、大分県、2017 年、兵庫県、2022 年コロナ禍で行われたビデオ審査でもジュニア和太鼓コンクール特別賞を受賞しています。

代表曲…「いん石流れ打ち」「宇宙の石」「疾風～屋島の戦い～」
「花綴り」等



大野原龍王太鼓

090-4971-6933(森)

大野原龍王太鼓は、地域に根づく伝統芸能を創り上げようと、昭和 61 年 12 月に結成され、善通寺龍神太鼓主宰者 石井 響宇山氏に作曲・指導いただき、昭和 62 年 3 月、雲辺寺ロープウェイの開通式にデビューしました。以来、県内外の様々なイベントに出演しています。現在は、太鼓演奏による様々な表現の可能性を求め、精進しているところです。

さぬきの鼓響ならではのパフォーマンスをお楽しみください。



仁尾竜翔太鼓

090-1006-3270(原)

平成元年に当時の仁尾町商工会青年部を中心とした若者により発足し、平成 3 年元日の初打ち奉納によりデビューした仁尾竜翔太鼓。30 年の月日を経ている、若者を得て新しく飛び立とうとしています。先人たちの伝統を受け継ぎ、更に自分たちの創意工夫により、新しい仁尾竜翔太鼓が生まれるのです。

私たちは『音楽』という言葉を一から見直し、見て聞いて叩いて楽しい太鼓を目指し、日々練習し続けています。